



映像



町と地区と同時に防災訓練を

まずは地区の訓練を充実する



いわもと ちほ 議員
岩本 知帆



総合防災訓練で活躍する女性

問 町全体で実践型の防災訓練の実施は地域の助け合う力、自己の防災意識の向上になる。また、防災復興には女性の参画拡大が必要とも言われている。今後の防災訓練の考えを問う。

答 本町の防災組織で、女性の占める割合は。総務部長▼防災会議の構成では、19人中3人が女性。16%となっている。

問 各地区の実践訓練と同時に、町全体の防災訓練実施を。

答 まずは地区の訓練を充実し、その上で実現に向けて検討。

問 公式SNSを活用し、多くの住民が総合防災訓練を見る機会を。

答 総合防災訓練や、消防団活動などを公式YouTubeチャンネルにて配信する準備を進めている。



図書館



自宅

どこでも利用できる電子図書館

他市町の導入状況を参考に
西三河9自治体中7市が実施している。デジタル形式で書籍や資料を提供する電子図書館は、利便性の向

幸田町に電子図書館の導入を

上が図れる。導入に向けた町の考えを問う。

問 幸田町にも電子図書館の導入を。

答 総務部長▼メリットは多い。他市町の導入状況を参考に考えていく。

小中学校にデジタル媒体導入を

他事例を参考に前向きに進める

今年度、町立保育園へのデジタル媒体導入により、登園確認や手紙のアプリ化で、保育士の負担軽減と保護者の利便性が向上される。同じしくみを学校現場へ拡大を望む。

問 小中学校に、教員の仕事削減や保護者と情報共有するデジタル媒体の導入を。

答 現在、一斉メールや出欠席をデジタル化。今後、様々な事例を参考に前向きに進める。

アプリで完了!





まつもと ただあき
松本 忠明 議員

甚大被害の集中豪雨への対応は



映像



菱池遊水地と広田川拡幅中心に

問 昨年6月の本町での集中豪雨や、本年1月の能登半島地震を踏まえ、今後予測される自然災害に対して、リスク管理の事前予防と事後対応の観点から、防災・減災に必要な本町の備えを問う。

答 相見地区をはじめ、甚大な被害が発生した集中豪雨の被害が拡大した要因に対して、課題対応の全貌は。

問 建設部長▼菱池遊水地の整備と広田川の河道拡幅を進める。また昨年度、調整池浚渫や集水樹の清掃を実施し、鷺田排水機場の更新と新設も推進中。

問 これら対策により見込まれる効果は。県の資料では約1・21mの水位低下が期待できる。

問 本町全体での集中豪雨の排水対策は。相乗効果を図って、相見川や赤川の堆積土砂撤去及び拾石川の復旧工事を実施、また県道芦谷蒲郡線で雨水が地下に透水する舗装を実施した。

地震発生時本町の初動対応は

被害情報の収集と避難所の開設

問 被害が予想される地震発生時の初動対応は。

答 総務部長▼BCPに基づき、被害情報の収集、避難情報の発令、避難所開設等に着手。避難所は、発生3時間以内に着手する。

問 被災者への食品の提供は。

答 災害救助法に基づき、炊き出し等に

よる食品の給与を実施。

問 非常食や日用品の備蓄・提供は。

答 消防長▼非常食は3食3日分を目標に備蓄。日用品はトイレをはじめ各種生活必需品を備蓄。現在、大規模災害時の物流拠点となる大型防災倉庫建設を計画している。

危機管理監設置の主な目的は

防災・減災対策の推進役に必要



大雨で増水した広田川

問 危機管理指針の見直しは。

答 総務部長▼昨年、部課長級の研修会を開催。今後、当該研修等を参考に危機管理指針の改訂を行う。

問 危機管理監設置の目的・活動内容は。

答 町長▼防災・減災対策の推進役として、多様化する組織のリスク管理を全庁的視点に立ち、特に事前予防の分野で優先順位を誘導することを期待。

鷺田公民館更新の進め方は

複合的機能を果たす地域を選定

問 幸田小学校区全体の公共施設の新設や更新の進め方は。

答 町長▼児童館及び必要な公民館の移転の可能性について、適地を見極め順次整備する。

問 鷺田公民館の更新の進め方は。

答 避難所運営等、複合的な機能を果たす地域を選定。基本構想に子育て機能を取り入れて、進めていく。